



佐屋高校文鳥プロジェクト  
白文鳥と桜文鳥



愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

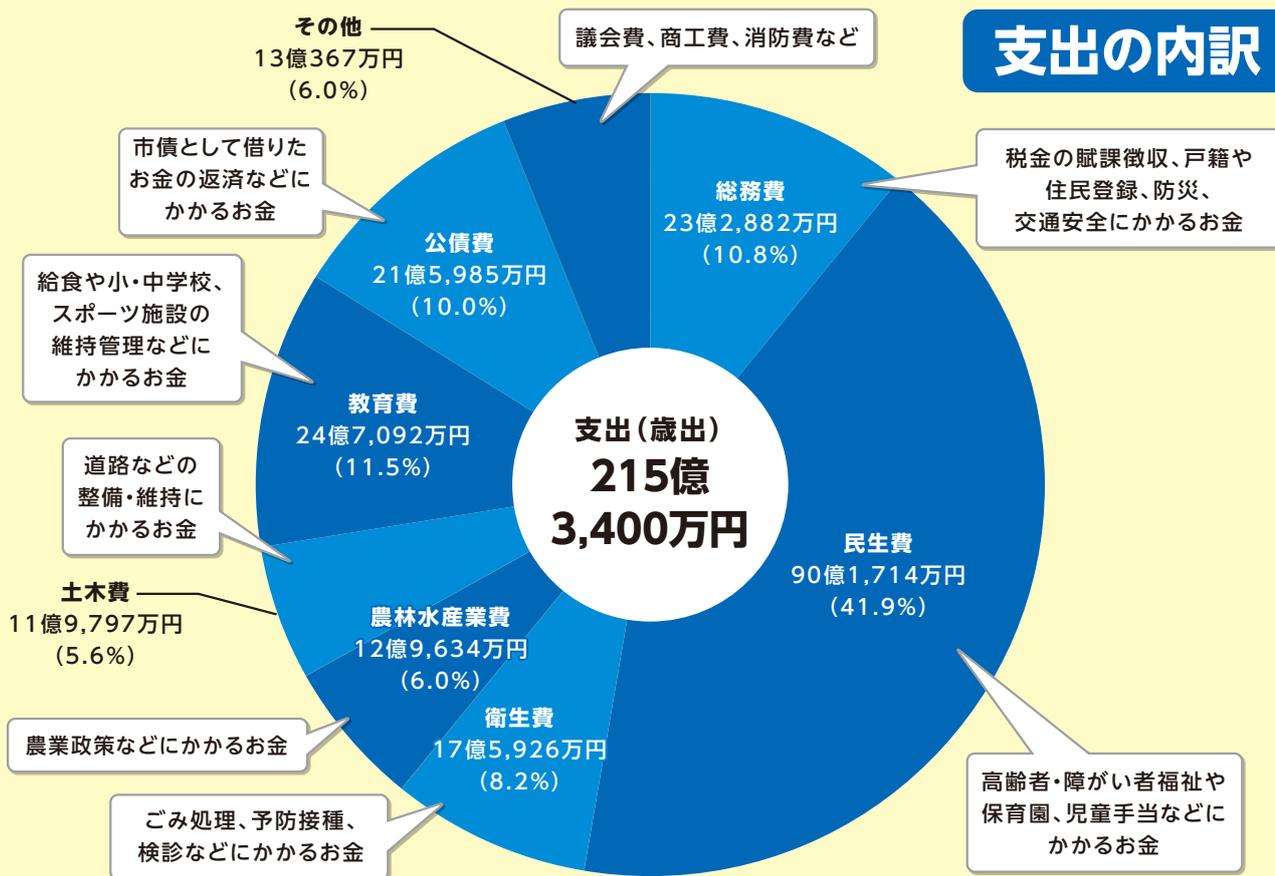
No.60  
2020.5.1

3月定例会

<b>特集</b> 令和2年度予算 人と心を育む活力のまちへ …	2
議論の中から新発見 ……………	4
一般質問 ～市政を問う～ ……………	8
<b>イキイキコーナー</b> 第4回 日本ボーイスカウト 愛知連盟 愛西第1団 ……	21
取材しました! 佐屋高等学校 ……………	22

# 活力のまちへ

## 支出の内訳



### ●市内に転入した新婚世帯の新生活を支援します

(事業費600万円)

結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、住居費及び引っ越し費用の一部を助成します。令和2年4月以降に、婚姻届を提出し、各々45歳以下で、どちらか、またはどちらとも市外から転入してきた夫婦が対象となります。



### ●高齢者福祉タクシー料金助成事業を拡充します

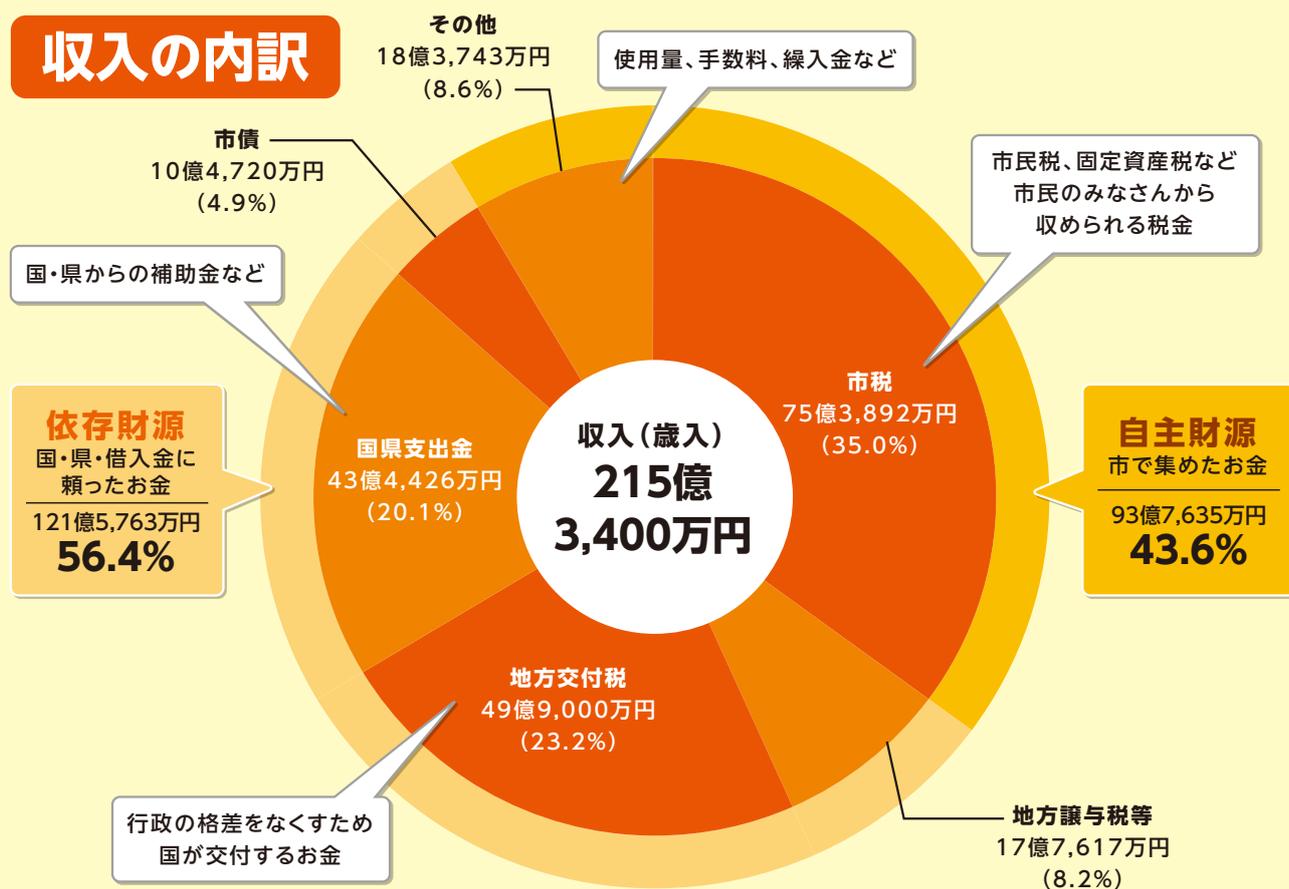
(事業費1383万円)

地域で安心して生活を送るため、現行制度に加えて、7月から高齢者福祉タクシー料金の助成対象を80歳以上の方すべてに拡充します。居宅と公共施設及び医療機関との間のタクシー初乗り運賃の基本料金及び、迎車回送料金を助成します。

見本

# 人と心を育む

## 収入の内訳



## ●発達支援センターの設計を行います

(事業費1961万3千円)

児童発達支援事業をセンター(建設予定地石田町地内)を設置するこ  
かば」に保育等訪問支援とにより、発達障害児の  
事業、相談支援事業を加療育・支援の充実を図り  
え、新たに児童発達支援ます。



## ●その他事業

- 子ども医療費助成事業(拡充分)  
(4219万円)
- 道の駅周辺整備事業  
(5797万円)
- 佐屋総合運動場整備工事  
(1億8513万円)

# 議論の中から新発見

## 学校内ネットワーク整備 ひとり1台のタブレット活用へ

小・中学校で、情報端末（タブレット）をひとり1台配備して授業に活用できるように、学校内に通信ネットワークを整備します。

### 一般会計補正予算

小学校GIGAスクール事業 2億5千678万4千円  
中学校GIGAスクール事業 1億2千797万3千円  
（繰越明許で新年度へ）

**Q** 教育への具体的な導入方法は。

**A** 令和2年度に小・中学校全校に校内ネットワーク整備を行う。端末は、段階的にひとり1台



▲学校の授業で活用されているタブレット

の環境整備を目指す。教育への導入については、

インターネットの利用や動画の活用などが考えられている。

**Q** 端末の使用管理をどうしていくのか。

**A** 端末管理については、教室にキャビネットを設置し、終了後はキャビネットへ収納、充電、保管することになる。

**Q** 主な経費の内訳は。

**A** 消耗品は、小学校では端末の保護ケースや画面保護フィルム。中学校では端末の画面保護フィルムのみ。ソフトウェア使用料は、端末の管理ソフト、コンテンツファイル、個別学習ソフト、共同学習ソフトの使用料。

ネットワーク整備は、ネットワーク回線、無線機器、端末を収納・保管するキャビネット。

**Q** 端末の購入台数は。

**A** 小学校は、5・6年生に1065台、中学生は、1年生515台を整備する。

## 解約金の額の決定 （佐屋・佐織 デイサービスセンター）

令和元年度で、市が業務委託していたデイサービス事業を廃止しました。入浴機器等は、リース契約物品のため契約解除に伴う解約金（佐屋359万8560円、佐織983万6760円）を支払うことになりました。佐屋・佐織それぞれのリース物品の契約期間、解約期間、リース金額は次の一覧表のとおりです。

	リース物品	契約期間	解約期間	月額リース金額
佐屋デイサービスセンター	入浴機器一式	平成24年4月～10年間	36か月	9万9600円
佐織デイサービスセンター	座浴	平成24年3月～10年間	24か月	7万9890円
	座浴チェア	平成27年5月～7年間	26か月	1万5120円
	寝浴一式	平成28年10月～10年間	79か月	8万5320円

**Q** このリース期間等を決めるに当たっての議論はしたのか。

**A** 議論はあった。リース物件は事業に必要な物品であり、前リース品のリース切れ及び劣化により更新の必要があった。

**Q** 佐織の場合、解約金が983万6760円と高額だが、この損金をどのように受け止めるのか。

**A** 深く反省する部分がある。

**Q** リース残額を支払い、物品も撤去される。入浴機器等の売却（オークション）の方法もあるのでは。

**A** 一旦リース会社に返却し、リース業者が売却すれば、その必要経費を除いた金額は、市へ納入されることになっている。

討論

賛成

**Q** 解約金の支払いは妥当だ

佐屋・佐織デイサービスセンター事業の廃止にともなう、入浴機器等のリース契約解除における清算額である。解約金額は、契約に基づく解約金額より少ないリース残高に基づく額であることから、この決定金額については賛成する。

反対

**Q** 事業廃止提案時に報告すべきだ

デイサービス事業の廃止により、解約金の発生が予想できたにもかかわらず、報告しなかった。リース契約を指定管理者にまかせて、市の解約金負担を隠ぺいする行政運営は、財政健全化に逆行しているので反対する。

愛西市佐屋プールを廃止します

平成26年度から休止していた佐屋プールを廃止します。令和2年度に解体し、市民の憩いの場になるよう跡地の整備を行います。

**Q** 25年度に実施した漏水調査の結果は。

**A** 排水管内の腐食がひどく、ピンポイントでの漏水箇所の特定には至らず、完全な修復を見込めないことが判明した。

**Q** 新たなプールの設置を希望する声はないのか。

**A** そういった要望は聞いていない。

**Q** 跡地利用について具体的な説明を。

**A** 市民の憩いの場となるよう跡地の整備を行う。具体的には、駐車場、日よけシェルター、サークルベンチ、かまどベンチ、トイレ、防犯カメラ等の

**Q** 応急仮設住宅は何棟できるのか。

**A** 24棟の予定。

**Q** プール廃止に伴う代案として、各地区での学校プール開放の検討する考えは。

**A** 現状、佐屋プールの代替として、佐屋小学校のプールを開放している。他の地区での開放は考えていない。



▲解体される佐屋プール

討論

賛成

**Q** 解体跡地のリニューアルは適切だ

解体跡地に、佐屋中央公園をリニューアルし、市民の憩いの場や、大規模災害時の応急仮設住宅の用地として活用していく考えは適切だ。

反対

**Q** 学校のプール開放は、4地区で行うべきだ

市民にとって、図書館が公共施設として必要のように、市のプールも同様に必要だ。廃止するならば、子どもたちのために、学校のプール開放は4地区で行うべきだ。

## 下水道条例の一部改正 使用料延滞金を徴収する ことができる規定に

公共下水道の使用料滞納に対し延滞金を徴収する規定がありましたが、実態として、徴収していませんでした。今回、農業集落排水事業等の延滞金に係る規定との整合性を図るようになりました。

**Q** 急いで改正するのはなぜか。

**A** 年度途中では不公平感があると考えた。

**Q** 使用料のみに絞ったのはなぜか。

**A** 農業集落排水等との整合性が図られていない問題を解決するためだ。

**Q** できる規定にしたのはなぜか。

**A** 将来、料金体系を見直す際に、延滞金の取り扱いについて改めて検討できるようにするため。

**Q** 過去（改正前）については延滞金を取る方向で検討するのか。

**A** 改正前については、慎重に対応をしたい。

**Q** 経緯や損害額などを検証する専門家を交えた会議を開いては。

**A** 今調査をしている。今回の件を真摯に受け止めて、職員の意識改革などに努めていきたい。

**Q** 下水道だけの問題ではない。どのように改善をしていくのか。

**A** 今後はマニュアルを活用して、関係部署職員との勉強会を定期的に行うなど、担当者の理解を深め、税外債権の適正な管理、徴収に努めていく。

### 令和2年3月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成  
●：反対

会 派	審議結果	新生愛西クラブ										日本共産党 愛西市議団	あいさい クラブ		公明党 あいさい		無党派 会派	無党派 会派	
		鬼頭勝治	島田浩	鷺野聡明	神田康史	杉村義仁	近藤武	佐藤信男	原裕司	石崎誠子	真野和久	河合克平	加藤敏彦	大宮吉満	山岡幹雄	竹村仁司	高松幸雄	吉川三津子	馬淵紀明
愛西市プールの設置及び管理に関する条例の廃止について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
新市建設計画の変更について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
解約金の額の決定について (佐屋デイサービスセンター)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
解約金の額の決定について (佐織デイサービスセンター)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和元年度愛西市一般会計 補正予算(第7号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市一般会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市国民健康保険 特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市後期高齢者医療 特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市介護保険特別会計 予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市水道事業会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市下水道事業会計 予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○

※審議結果の「可」は可決です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

## ◆市民から信頼される議会を目指して

議会運営委員会 1月14日～15日

石川県加賀市議会は、議会基本条例を基に、議会が目指すべき姿として、「開かれた議会」「市民が参加する議会」「政策提案する議会」「監視する議会」「審議する議会」を掲げて議会運営をしています。その結果、議会改革度調査では、全国で上位に位置しています。

議会改革の一環として、平成29年6月定例会より導入し、現在、本格運用をしています。

今回の施政方針は、「快適で安心・安全に暮らせるまちづくり」「胸を張り誇れる魅力のまちづくり」「共に創造し共に協働するまちづくり」「人と心を育む活力のまちづくり」の四本の柱を掲げ、進めていくという内容でした。

「開かれた議会」「市民が参加する議会」「政策提案する議会」「監視する議会」「審議する議会」を掲げて議会運営をしています。その結果、議会改革度調査では、全国で上位に位置しています。

議会からの「市民への説明責任」が重要と考え、資料・情報をいつでも見られるようにして、議会活動の活性化を進めていきました。

各代表者は、この内容について、いろいろな角度から、質問をしました。

取り組みの一つとして、委員会の政策活動では、計画・手順・実行・検証・改善を実行し、条例策定などを行っています。今後の議会運営に反映していけるよう取り組んでいきます。

この視察内容を、今後の運用に向けて、生かしていきます。

このことに対し、行政視察や他の議会を調査する中で、本市としてどのように取り扱っていくのか、議論を重ねてきました。

議会の活性化を進めていきました。

この視察内容を、今後の運用に向けて、生かしていきます。

このことに対し、行政視察や他の議会を調査する中で、本市としてどのように取り扱っていくのか、議論を重ねてきました。

議会の活性化を進めていきました。

この視察内容を、今後の運用に向けて、生かしていきます。

このことに対し、行政視察や他の議会を調査する中で、本市としてどのように取り扱っていくのか、議論を重ねてきました。

議会の活性化を進めていきました。

この視察内容を、今後の運用に向けて、生かしていきます。

このことに対し、行政視察や他の議会を調査する中で、本市としてどのように取り扱っていくのか、議論を重ねてきました。

議会の活性化を進めていきました。

この視察内容を、今後の運用に向けて、生かしていきます。

このことに対し、行政視察や他の議会を調査する中で、本市としてどのように取り扱っていくのか、議論を重ねてきました。

富山県南砺市議会は、議会改革の一環として「タブレット端末による

### ◆タブレット端末活用



▲南砺市でのタブレット研修

富山県南砺市議会は、議会改革の一環として「タブレット端末による

富山県南砺市議会は、議会改革の一環として「タブレット端末による

富山県南砺市議会は、議会改革の一環として「タブレット端末による

富山県南砺市議会は、議会改革の一環として「タブレット端末による

# 市政を問う

## 12議員が一般質問

### 一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり1時間です。

●定例会第2日目および第3日目に、12人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

### 3月4日

#### 石崎 誠子 議員(P9)

- ◆子ども・子育て支援の推進は
- ◆SDGsを原動力にした市の取り組みは

#### 佐藤 信男 議員(P10)

- ◆佐屋中学校・佐屋小学校 校舎の新築は
- ◆暮らしや生活を守る交通の確保は

#### 近藤 武 議員(P11)

- ◆当初予算への考えは
- ◆相談支援体制は

#### 馬淵 紀明 議員(P12)

- ◆給食調理室 空調設備設置の考えは
- ◆SDGsの周知・啓発は

#### 山岡 幹雄 議員(P13)

- ◆市の普通財産 どのように活用するか
- ◆津島警察署仮庁舎について

#### 加藤 敏彦 議員(P14)

- ◆新型コロナウイルス 一斉休校の対応は
- ◆佐織公民館西の人道橋撤去で不便だ

### 3月5日

#### 吉川 三津子 議員(P15)

- ◆一企業に下水道分担金免除は条例違反だ
- ◆農地法違反への取り組みを

#### 真野 和久 議員(P16)

- ◆学校統合後のバス通学 継続できるのか

#### 河合 克平 議員(P17)

- ◆学校トイレの洋式化 早急に求める
- ◆加齢性難聴の補聴器補助は

#### 竹村 仁司 議員(P18)

- ◆男性職員の育休についての見解は

#### 高松 幸雄 議員(P19)

- ◆災害に対する日頃の備えは

#### 原 裕司 議員(P20)

- ◆ふるさと納税 拡充のための調整は
- ◆市税等滞納者の対応は



# 子ども・子育て支援の推進は

石崎 誠子議員

あらゆる分野から全力でサポートする  
子育て支援事業担当部長

**問** 愛西市子ども・子育て支援事業計画、並びに愛西市子育て応援プランの第1期計画の評価は。

**答** 子育て世代包括支援センターを設置し、相談支援体制を構築した。また、関係機関との連携、子育てポータルサイト開設、子育て人材バンク設置等、子育て施策の推進に努めることができた。

**問** 子ども子育て支援事業計画策定のデータ収集を目的とした、就学前児童・小学生の保護者を対象にしたアンケート調査では、どんな課題があったのか。また、どう取り組んでいくのか。

**答** 子育て世代包括支援センターの認知度が約2割であった。子育て世代だけでなく、妊娠期の方へもより一層のPRを図る。母子コーディネートを増員し、相談支援体制の整備に取り組む。

**問** 第2期計画では、子ども子育て支援をどう進めるのか。

**答** 子どもが元気に育つ環境づくり、地域が子育て家庭と子どもを支える環境づくり、子どもや若者と共に築く地域づくりを基にあらゆる分野から全力でサポートしていく。

**SDGsを原動力にした市の取り組みは**

**問** これまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略の評価は。

**答** 概ね目標達成に向けて進捗しているが、基本目標3「子育てしてみたいまち」については、効果が十分発現するに至らず、引き続き検討する。

**問** 新たな視点のSDGsを原動力にした今後の市の取り組み、民間や市民との協働についての考えは。

**答** 第2次総合戦略の事業の進捗により、取り組みを進める。民間、市民との協働の在り方については、手法も含め検討する。

**問** 近未来を見据え、市民が安心して暮らせる環境を保持していく具体的な方向性や施策は。

**答** 市民意識調査の結果を踏まえ、今後も住み続けたいと思えるよう、時代に即した各種事業の展開ができるような計画とし、進捗状況を確認しながら遂行していく。

※SDGsとは

平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」として位置付けられた17種の国際目標。



▲愛西市第2次総合戦略に加えられた新たな視点の「SDGsを原動力にした地方創生」

# 佐屋中学校・佐屋小学校 校舎の新築は

佐藤 信男議員



老朽化、経年劣化で早急な検討が必要  
教育部長



▲早急な検討が必要な佐屋中学校

**問** 平成30年度に実施した老朽化に伴う佐屋中学校の健全度調査結果は。

**答** 北校舎は、47年ほど経過。施設や設備の重度な老朽化で、建て替えたほうが良いとの結果だ。

**問** 教育委員会等で、校舎の老朽化に関する意見は。

**答** 児童・生徒が教育を受ける環境として、憂慮すべき状況がある。

**問** 学校を建設するために使うことができる基金の名称と基金残高は。

**答** 公共事業整備基金が活用できる。令和元年度末見込みで、59億3900万円だ。

**問** 老朽化が進んでいる佐屋中学校、建築年次が古い佐屋小学校から計画的に建て替え新築を進めべきだが、考えは。

**答** 老朽化、経年劣化で、早急な検討が必要。



▲早急な検討が必要な佐屋小学校

暮らしや生活を  
守る交通の  
確保は

**問** 運転免許証返納者などの高齢者が、住みやすい地域公共交通の見直しは。

**答** 令和2年度から高齢者福祉タクシーの助成を80歳以上の全ての方とする。高齢者の移動手段の確保と交通安全に貢献できるものとする。



# 当初予算への 考えは

近藤 武議員

必要な事業へ重点的に取り組む  
市長

**問** 令和2年度当初予算の特色ある新規事業は。

**答** 市民一人ひとりの健康を願い、地域社会全体で健康づくりを進めていくことを内外に宣言する「健康都市宣言」。また、結婚を機に愛西市に転入し、新生活を始める世帯へ住居費や引越費用の一部を助成する「新婚世帯住居費等支援事業」などが上げられる。

**問** 拡充事業と子育て世代への支援事業は。

**答** 拡充事業として、高齢者福祉タクシーの助成対象を80歳以上の方すべてに拡充する「高齢者福祉タクシー料金助成事業」。また、中学三年生までの入院・通院の現物給付による無償化に、中学生卒業後から18歳年度末までは入院は全額、通院は三分の二を償還払いで行う「子ども医療費助成」などがある。  
民間保育所、認定子ども園、幼稚園に通う児童に対する副食費補助も継続して行う。

も園、幼稚園に通う児童に対する副食費補助も継続して行う。

**問** 当初予算に対する市長の思い、考えは。

**答** 施政方針で述べた四つの柱のまちづくりの実現のため、各分野に必要な予算配分をした。次世代への責任ある礎を築いて行くため、必要な事業へ重点的に予算をつけ、取り組んでいく。

## 相談支援体制は

**問** 子育て世代包括支援センターの、今後の取り組みは。

**答** 相談者が利用しやすい環境整備を行い、育児相談の充実を図っていく。また、母子コーディネーターを新たに一人配置して、施設巡回事業、各種健診、教室などで親子を見守り、子育て支援を行っていく。

**問** 発達支援センターの設置により、どのような相談体制が望めるのか。

**答** 発達に障害のある、もしくは心配のある方の相談窓口が明確になり、保育園や学校など、ライフステージが変わったときにも継続的に相談が行える、一貫した相談体制を目指していきたい。



▲「あいさいわかば」での療育風景

# 給食調理室 空調設備設置の考えは

馬淵 紀明議員



学校や委託先とも協議、検討が必要

教育部長

自校方式学校給食調理室の状況

学校名	調理室空調	築年数
草平小	×	45年
西川端小	×	45年
勝幡小	×	48年
北河田小	×	48年
佐織中	○	13年
佐織西中	×	39年

※築年数は、給食室がある校舎の経過年数

**問** 学校給食調理業務は、大変過酷な労働環境だと聞いた。給食調理室の空調設備の設置状況は。

**答** センター方式には設置済み。佐織地区は自校方式で、佐織中学校のみ設置している。

**問** 学校から、空調設備の設置要望はあるのか。

**答** 要望事項の1項目として挙げられている。

**問** 給食調理における一番の問題点は。

**答** 安心・安全かつ安定した学校給食を提供するための環境を維持することだ。

**問** 空調設備の設置に向けて、市の考えは。

**答** 環境改善には課題も多いが、学校や委託先とも協議、検討が必要だ。

## SDGsの 周知・啓発は

**問** 庁舎内におけるSDGsの認知度は。

**答** 一定の周知・認知がなされていると理解している。

**問** ホームページなどで、市民へのSDGsの啓発を検討してみています。

**答** ホームページへ掲載し、市民への周知の機会としたい。

## その他の質問

●令和2年度予算状況は



▲豊田市のSDGsの取り組み



# 市の普通財産 どのように活用するか

山岡 幹雄議員

利用目的等を判断しながら売却する  
市長



▲普通財産の売却看板

**問** 平成30年の行政財産と普通財産の面積は。

**答** 行政財産の公用財産として土地8万548㎡、建物2万1607㎡。公用財産として土地88万4797㎡、建物19万9542㎡。普通財産は土地7万3651㎡、建物3108㎡だ。

**問** 普通財産の駐車場、雑種地等の財産を市はどのように活用するのか。

**答** 今後の利用目的等を判断しながら、売却なども視野に入れ進めていく。

**問** 津島警察署仮庁舎には、凶悪な犯罪者の取調室、留置場はあるか。

**答** 愛知県警に問い合わせたところ、機密情報のため教えられない。

佐織支所周辺の  
対応は



▲横断歩道の設置要望がある交差点  
(佐織中学校区内)

**問** 周知に関する条例に、他の法律などの手続の前に地元周知が必要と説明があるが、地元住民への説明をしているか。

**答** 地元総代へ案内をしている。

**問** 佐織公民館西側水路の橋が撤去されて復旧していないが、地域住民に啓発は。

**答** 今後、回覧で対応する。

**問** 佐織公民館南側コンビニ交差点に横断歩道の設置はできないか。

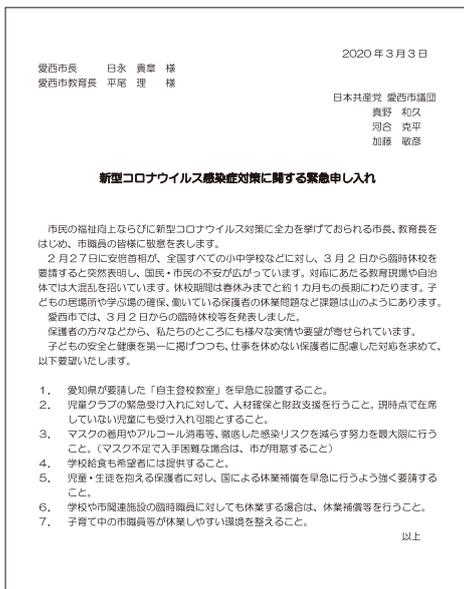
**答** 設置は難しい。

# 新型コロナウイルス 一斉休校の対応は

加藤 敏彦議員



児童クラブは17施設で開設  
子育て支援事業担当部長



▲日本共産党愛西市議団の緊急申し入れ書

**問** 安倍首相が、全国すべての小中学校などに対し、3月2日から臨時休校を要請すると突然表明した。愛西市は、児童クラブで対応するの方針だが、どのような状況か。

**答** 児童クラブは17施設で、朝7時半から夕方6時半まで開設している。

学校給食は体制を取ることができない。



▲撤去された人道橋(根高町)

**問** 佐織公民館西の人道橋が撤去された。周辺住民から「工事が始まる前には説明がなかった。橋がないとほんとうに不便だ」と声が寄せられているが。

## 佐織公民館西の人道橋の復元は

**答** 警察とも協議したが、交通安全上、危険なので設置は考えていない。住民への周知の時期については、諏訪と根高の総代と協議していく。



# 一企業に下水道分担金免除は条例違反だ

吉川 三津子議員

不適切な執行だ 然るべき判断をする  
副市長

**問** 「独り暮らしなのに高い分担金を払わなければならぬのはなぜか」「年金暮らしで宅内工事はできない」という声を高齢者から聞いている。高齢者世帯の接続が減るとなれば、財政的シミュレーションを見直すべきでは。

**答** 接続率が下がれば、シミュレーションも変わるという認識は持っている。

**問** 市は、一企業に775万円の下水道分担金を免除して優遇している。決定通知書には、条例の何条により免除するといった理由も書いてない。どんな事情があったのか。

**答** 内部で精査し、是正に努める。

**問** 条例違反ではないか。  
**答** 不適切な業務執行であり、直ちに然るべき判断をする。

## 農地法違反への取り組みを

**問** 市長は、道の駅拡張など農業を大切にしながら、市内には農地法違反のごみの山がある。

毎月10件から20件の農地転用の申請が農業委員会に出ている。過去の違反情報の説明も、意見も無く、全員賛成で決定されているが、農地法違反の現状は。

**答** 資材置場16件、廃棄物置場10件、廃車置場2件、残土置場1件。全体で29件だ。



▲合併前からの農地法違反の場所(早尾町)

**問** 許認可権のあるのは県だ。違反履歴やパトロール報告書を提出するなどしなければ解決しない。農業委員会の運営改善の考えは。

**答** 農地担当としっかり議論し、必要があれば農業委員会でも議論する。

**問** 廃棄物関連の事例もある。環境課とも連携して解決すべき。市独自の解決の仕組みが必要ではない。そして、違法な現状にあるものをいかに改善させるか、しっかりと研究していく。

**答** 違法農地転用をさせない。そして、違法な現状にあるものをいかに改善させるか、しっかりと研究していく。

# 学校統合後のバス通学 継続できるのか

真野 和久議員

財政との兼ね合いで適正か検討される  
教育部長



▲小中一貫校が検討されている立田中学校

**問** 12月議会では、「統合案の見直しは行わない、当面は説明会も行わない」との答弁だったが、今後の対応は。

**答** 今までの住民に向けて行う説明会ではなく、説明会に出席できなかったグループや住民の要望に個別に対応するなどし、これからも地域住民との対話を続けていきたい。

**問** 学校の体制、教員数や職員数、経費などが、現状と統合案1（立田・八開地区の全ての小中学校を1カ所に統合する）ではどう変わるのか。

**答** 現在の立田・八開地区、4小学校、2中学校で、教員数の合計が101名、職員数は10名、概算の経常経費が合計で6137万6千円。

統合案1の小中一貫校にした場合、想定で、教員数が65名、職員数5名、経常経費は概算で3697万3千円。

**問** 12月の説明会で不十分だったスクールバスは何台必要か、費用はどのぐらいかの説明を。

**答** 必要なスクールバスは試算では10台ほど。経費は、初期費用を除いて、運行1台につき年間600万円程度の試算。

**問** スクールバスで、年間6千万円の費用がかかることになる。今の立田・八開地区の小・中学校の経常経費とほぼ同じだ。どこかで廃止、縮小、有料化が出てくるのでは。

**答** 今後、進んでいけば、市長部局と、財政との兼ね合いで適正なのか検討されるはずだ。今の時点では、教育委員会は、あくまで教育に関して小中一貫校、適正規模の視点で提案をしている段階だ。

**問** 自主性を育てる教育が世界的に行われている。本市の小規模校は、これに当てはまり、実際に様々なことが行われている。そうした教育を本市の教育として特徴づけていくことが重要では。

**答** 教育委員会は、人間性をつくっていく部分で、必ず一定規模の人数の中で、人と人が触れ合う環境が必要だという考えに変わりはない。

## その他の質問

● 防災コミュニティセンターの指定管理の改善を

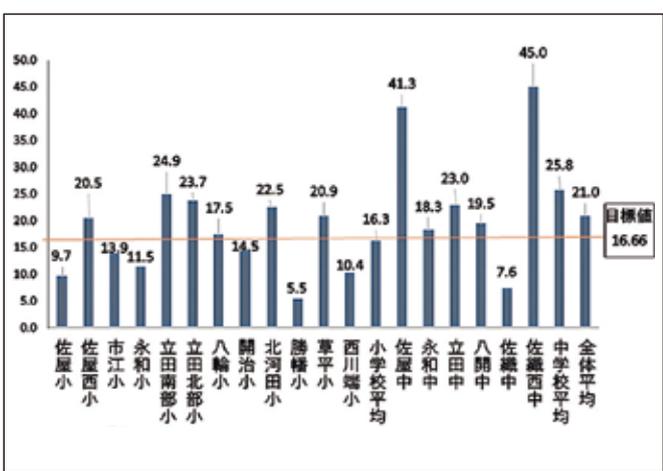


# 学校トイレの洋式化 早急に求める

河合 克平議員

令和4年度までにはおこなう

教育部長



▲洋式トイレ1器あたりの人数

**問** 学校トイレの洋式化の比率は。

**答** 小学校が47.0%、中学校が29.2%。全体で40.4%だ。

**問** 他市の状況は。

**答** 津島市の洋式化率が49.1%、弥富市が59.4%、あま市が56.4%となっている。

**問** どのような基準で行うのか。

**答** 公益社団法人空気調和衛生工学会の学校に対する指針である、1器あたり16.66人を参考にしながら整備を進める。

**問** 現在、洋式化が進んでいないのは。

**答** 小学校をまず優先的に進めてきた。1年に2校ほどを整備し、平準化しながら進め、小学校はこの

ような状況まで上がっている。佐織西中、佐屋中に関しては、非常に洋式化が遅れている。今後、中学校のトイレ改修を順次行うことによって、全域の小・中学校の平準化を図る。

**問** 今後どのように改修を行うっていく予定なのか。

**答** 令和2年度については、当初予算に上がっているとおりの。3年度で中学校と、小学校で遅れている八輪小、開治小を計画している。最後に、4年度で立田北部小、南部小を行う計画を持っている。

## 加齢性難聴の補聴器補助は

**問** 補聴器は、認知症の予防につながるのでは。

**答** その根拠が十分に確立されている状況ではない。

**問** 独自に加齢性難聴の補聴器補助をすすめては。

**答** 厚生労働省は、補聴器を用いた認知機能低下予防の効果を研究している。それを見ながら、進める。

**問** 立田北部小、立田南部小を4年度に行うとのことだが、老朽化や臭いの問題で先に行うべきではないか。建て直す計画があるのか。

**答** 2年度に老朽化対策検討委員会ができる。50年以上の建築の建物の方向性が示される。そういった点も視野に入れている。

# 男性職員の育休についての見解は

竹村 仁司議員



取りやすい環境の整備が必要

市長



▲男女がお互いに助け合う街づくり  
(第3次愛西市男女共同参画プラン)

**答** 男女問わず、子育ては大切なものである。職場の中でも仕事は独りでするものではなく、組織、チームでするもの。育児休業を取りやすい環境整備を進めていくことが必要である。

**答** 男女問わず、子育ては大切なものである。職場の中でも仕事は独りでするものではなく、組織、チームでするもの。育児休業を取りやすい環境整備を進めていくことが必要である。

**問** 家事・育児・介護をし、活躍できる職場環境を整備することが、女性の活躍促進宣言の一番鍵を握るテーマになる。まず育児について考える。育児休業は、どのような場合に取得できるのか。あわせて、これまでの男女の取得率は。

**答** 育児休業は、職員の子どもが3歳に達する日まで取得することができる。平成30年度、女性は100%、男性は0%。令和元年度については、男性が2人育児休業を取得している。1人は約5カ月、もう1人は10日間。

**問** 今は、パートナーである女性に偏りがちな育児や家事の負担を夫婦で分かち合う時代。男性の育児休暇に関してどのような考えか。

**答** 男性の育児休業については、昨今、積極的な取得の推進がされている。届出があったときには、職員へ情報提供をして取得を促している。

**問** 市長に尋ねる。これからの若い市職員が仕事と育児の両立を行っていくためには、男女を問わず育児の取得が核家族化や少子高齢化の時代を生き抜く手だてになる。特に、男性職員の育休についての見解は。

**答** 市長に尋ねる。これからの若い市職員が仕事と育児の両立を行っていくためには、男女を問わず育児の取得が核家族化や少子高齢化の時代を生き抜く手だてになる。特に、男性職員の育休についての見解は。

**問** 市長に尋ねる。これからの若い市職員が仕事と育児の両立を行っていくためには、男女を問わず育児の取得が核家族化や少子高齢化の時代を生き抜く手だてになる。特に、男性職員の育休についての見解は。

**答** 市長に尋ねる。これからの若い市職員が仕事と育児の両立を行っていくためには、男女を問わず育児の取得が核家族化や少子高齢化の時代を生き抜く手だてになる。特に、男性職員の育休についての見解は。



# 災害に対する 日頃の備えは

高松 幸雄議員

自らの命は自らで守る心が大切

市長

**問** 本市は、海拔ゼロメートルの低地に位置し、木曾川、日光川といった大きな河川に囲まれている。一たび大地震や集中豪雨が直撃すれば、津波や浸水の被害が市域全体に及ぶことが想定され、日頃の警戒や備えが欠かさない地域である。私たち市民は、そうしたリスクにしっかりと向き合い、いかに避難するか、いかに備えるかを常に考え、平時のうちに生活物資を蓄積し、避難行動を訓練していく必要がある。

現在、市からは洪水ハザードマップと地震ハザードマップが各家庭に配付されている。昨今の自然災害の頻発を受け、洪水、津波それぞれの基準が見直され、洪水ハザードマップでは、日光川の浸水想定、そして津波発生時の基準水位が改定されたが、市のハザードマップを見直す予定はあるのか。

**答** 国・県の想定や考え方が変わったので、これに合わせて改定し、市民に知らせる必要がある。このため、最新のデータ及び基準に沿った新たなハザードマップの作成費用を令和2年度当初予算に計上している。



▲建物の1階窓とほぼ同じ位置にある  
海拔0メートル表示看板(近鉄富吉駅前)

**問** 新しいハザードマップは、どのような内容か。

**答** これまで洪水と地震で別々に配付していたハザードマップを1冊にまとめ、それに各種防災情報を加えた防災ハンドブックを作成する。

**問** 災害に対する日頃の備えについて、市長の考えは。

**答** 災害が発生したとき、いかに身を守るか、いかに避難生活をしていくかは、一人ひとりが考え、行動し、備えておかなければならないことだと考える。

今回、新たに策定するハザードマップは、あくまでも一定の条件を設定したものである。そればかりを過信せず、あらゆる状況をイメージして、避難経路の確認、非常持ち出しバッグの準備、家庭内での備蓄など、日常の中で行ってもらいたい。自らの命は自らで守るという自助の心を持ってもらえようをお願いをしたい。

# ふるさと納税 拡充のための調整は

原 裕司議員



自治体情報や返礼品レシピ 掲載を検討  
総務部長



▲ふるさと納税、検索サイト

**問** 令和元年度12月末時点の寄附申し込み状況は、

**答** 寄附者414人、89万2千円となっており、前年度と比較して約2倍の寄附金額を受けている。

**問** 返礼品目数、人気返礼品の状況は。

**答** 現在、返礼品目数は49品目で、人気返礼品上位3品は、レンコン2kg、チャイルドシート、味噌煮込みうどんとなっている。

新規に返礼品として、チャイルドシートを追加したことが、寄附額増額の要因だ。

**問** 寄附財源をどのように有効活用しているか。

**答** 令和2年度の計画は、

総合計画に基づき、8つの用途から選択することができ、2年度は、「幼稚園・保育所等副食代補助事業（市単独分）」、「道の駅周辺整備事業」、「外国語指導助手委託事

業」などに充当の予定だ。

**問** ふるさと納税をしてもらうため、リピーターを増やす工夫や消費者への心配りが必要だ。行政側、産品者側、運営サイト側などの企画調整は。

**答** 自治体情報の掲載や返礼品を使ったレシピ等の掲載を業者と調整し、可能であれば適宜追加していく。

## 市税等 滞納者の対応は

**問** 滞納者数は、17法人3534人、未納総額が1億5738万705円となっている。滞納者への徴収方法は。

**答** 納期限後20日以内に督促状を送付し、その後、徴収嘱託員による戸別訪問や納税催告の送付を行い、早期納付をお願いしている。

**問** 愛知県西尾張地方税滞納整理機構の役割は。

**答** 職員のみ徴収技術の向上を図るため、毎年市職員1名を派遣し、県職員と協働して、毎年1000件の案件を引き受け、滞納整理に取り組んできた。

**問** 滞納機構の延長は。延長しない場合の対応は。

**答** 元年度末で終了する。今後は、機構を経験した職員が中心となり進めて行く。

### 愛西第1団活動

活動日は 月2回 月曜日

会員数は 23人

#### 指導者から一言

野外活動や奉仕活動等を通して健全な青少年育成をめざした世界的な社会教育運動です。

いろいろな体験をして視野を広げ、経験を生かして「生きる力」を身につけてください。

#### 魅力は

一人の人として成長できる



#### 愛西市に お願いしたいことは

隊員が少ないため、PR活動をお願いします。隊員一同何でも協力します。

#### 楽しいことは

キャンプが好き  
料理長と呼んでる人の  
美味しい料理



#### 将来の夢

人から感謝される  
職業に就きたい



開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、**写真掲載とコメントを募集します。**

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・  
送付先

愛西市議会広報特別委員会（市議会事務局）

〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141  
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第17回取材しました!  
高校編③

## 愛知県立佐屋高等学校

普通じゃできない経験をしよう

「農業は、全ての原点!」を合言葉に活動している生物生産科・アニマルコースの生徒を取材しました。

Q 日頃の活動は。

A 愛玩動物を対象に、飼育管理やしつけに関する知識や技術を学習しています。また、動物介在活動として社会福祉施設で「ふれあい動物園」を行っています。

Q 愛玩動物の対象は。

A イヌ、ネコ、ウサギ、ハムスター、文鳥等です。

Q 活動費用は。

A 県より活動費用をいただき、飼育に関する餌等を購入しています。鶏卵や文鳥等の販売で得た収入は、全額を県に返納します。

Q 文鳥飼育状況は。

A 2009年に弥富市文鳥組合より文鳥を、4年前に文鳥農家の青木さんや元文鳥農家の方から飼育用具を寄付していただき、飼育を開始しました。

飼育環境が整わず、3年間は繁殖しませんでした。

したが、飼育方法の改善により成功し、2年前から販売ができるようになりました。

Q 長期の休みの飼育は。

A 生徒が交代で当番実習を行い、管理しています。

### 生徒の感想 ～あいさいさん祭りにて～

・たくさんの親子が、文鳥とふれあってくれて嬉しかった。

・私たちの文鳥プロジェクトを、新聞やテレビで見られていることが嬉しかった。

・ツイッターの更新を楽しみにしている方も多かったため、励みになった。



## 令和2年6月定例会の開催予定

5月 25日(月) 本会議(招集日) 議案上程

5月 28日(木) 本会議(第2日) 一般質問

5月 29日(金) 本会議(第3日) 一般質問

6月 5日(金) 本会議(第4日) 議案質疑

6月 9日(火) 総務文教委員会

6月 10日(水) 建設福祉委員会

6月 17日(水) 本会議(最終日) 討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

6月8日(月) 午前10時～・午後7時～

6月9日(火) 午前10時～・午後7時～

○本会議は午前9時30分から開催します。

○日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。

○詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

### 編集後記

今の委員での編集は、今回が最後となりました。

この2年間、全ページカラー化、子どもの団体を紹介する「イキイキコーナー」開設、読みやすいレイアウトなど、もともと市民に興味を持ってもらえ、読んでもらえる「議会だより」をめざして編集してきました。

文化祭で行ったアンケートでは、「読みやすくなった」との評価もいただきました。一方、内容についての注文もいただきました。

委員は変わりますが、これからも市議会の様子を伝える「議会だより」を読んでいただくよう、努めてまいります。

(真野 和久 記)

委員長 近藤 武  
副委員長 高松 幸雄  
委員 真野 和久  
佐藤 信男  
原 裕司  
馬淵 紀明